

令和8年度 岩手県立二戸北星支援学校 奥中山校 経営計画

校長：田淵 健

1 校訓・教育目標		校 訓： みんな なかよく いきいきと 教育目標： 地域の中で、共に学び育つ環境をつくり、自己選択・自己決定により社会参加・自立のできる人間を育成する。				
2 現状把握及び将来展望	(1) 学校に対するニーズ	児童生徒 ・ 自分のもっている力を存分に発揮できる生活 ・ 地域の友達と共に学ぶ機会	保護者 ・ 一人一人に応じた支援・指導 ・ 自立と社会参加の実現	地域住民 ・ センターの役割への期待 ・ 地域の学校としての存在意義	他 ・ インクルーシブ教育の推進 ・ 自立と社会参加を目指した実践	
	(2) パートナーとの関係	児童生徒 ・ 主体性や自己選択・決定の機会を重視した実践 ・ 交流及び共同学習の展開	保護者 ・ 教育活動への理解と協力 ・ 積極的な情報の発信と共有	地域住民 ・ 学校に関する情報の積極的発信及び公開 ・ 交流の充実及び継続	他 ・ インクルーシブ教育に関する検討 ・ 児童生徒の生活、就学を支える連携	
	(3) 学校に影響を与える変化	・ 児童生徒数の減少及び障がいの多様化 ・ 少子高齢化に伴う地域交流の今後の在り方 ・ インクルーシブ教育システム構築への期待				
3 目指す学校像	(1) 今年度の重点目標	重点目標		達成指標		
		ア 主体性と自己理解を育てる教育を展開する。		・ わが子は学校生活に満足していると思うと回答した保護者の割合【90%以上】		
		イ 人間関係を育む協働的な学びや、地域連携の充実を図る。		・ 交流など、他者との関りが充実していると回答した保護者の割合【90%以上】		
		ウ 組織的なカリキュラム・マネジメントを推進する。		・ 子どもの成長や実態に応じた教育課程が編成されていると回答した教職員の割合【90%以上】		
		エ 組織で「いじめの未然防止と対処」に当たり、安心安全な環境を整備する。		・ 学校はいじめ等がなく安心して通わせることができると回答した保護者の割合【90%以上】		
		オ 心身の健康を基盤とした教育を推進する。		・ 学校は心と体の健康を重視した取り組みを行っているという回答した保護者の割合【90%以上】		
		カ 児童生徒の人権を尊重し、不適切な指導を根絶する体制を構築する。		・ 学校では子どもの人権が尊重されていると回答した保護者の割合【90%以上】		
	(2) 取組方針	ア 主体性と自己理解を育てる教育を展開する。 (ア) 自分の良さや可能性に気づき、自ら考えて行動できるよう指導・支援する。 (イ) 小学段階からのキャリア教育を通じて社会参加と自立に向けた力を育む。				
		イ 人間関係を育む協働的な学びや、地域連携の充実を図る。 (ア) 交流及び共同学習の充実を図り、他者との関りを大切にし、互いに認め合う心を育む。 (イ) 地域の小中学校等への支援・情報共有の強化を図る。				
		ウ 組織的なカリキュラム・マネジメントを推進する。 (ア) 各教科、領域の横断的なつながりを意識し、児童生徒の学びの質を高める。 (イ) 授業改善や学校評価を通して教育の質の継続的な向上を図る。				
		エ 組織で「いじめの未然防止と対処」に当たり、安心安全な環境を整備する。 (ア) 児童生徒の様子を丁寧に観察し、職員間で速やかに共有する。 (イ) 学校生活アンケートや教職員の観察、面談等により早期発見に努める。				
		オ 心身の健康を基盤とした教育を推進する。 (ア) 体力づくり、心のケア、安全な環境づくり等を通して健やかな成長を支える。 (イ) いわての復興教育等を通して命の大切さへの理解を深める。				
		カ 児童生徒の人権を尊重し、不適切な指導を根絶する体制を構築する。 (ア) 子どもの権利条約等の理解を深め、子どもに寄り添った支援を行う。 (イ) 岩手モデル研修会や毎月の職員会議等を通して人権意識をより高める。				
		・ Teams 等の活用による業務の効率化、および時間外在校時間縮減を図る。 ・ 積極的なコミュニケーションによる心理的サポート及び風通しの良い職場環境をつくる。				
4 業務量管理・健康確保措置						